

2008年度
第3四半期決算
Conference Call

2009年2月12日
日本新薬株式会社



業績の状況（連結）

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	44,017	100.0%	48,661	100.0%	4,644	10.6%
営業利益	5,231	11.9%	7,052	14.5%	1,821	34.8%
経常利益	5,986	13.6%	7,058	14.5%	1,072	17.9%
当期純利益	3,430	7.8%	3,861	7.9%	431	12.6%

※以下、本資料における第3四半期は4～12月の累計

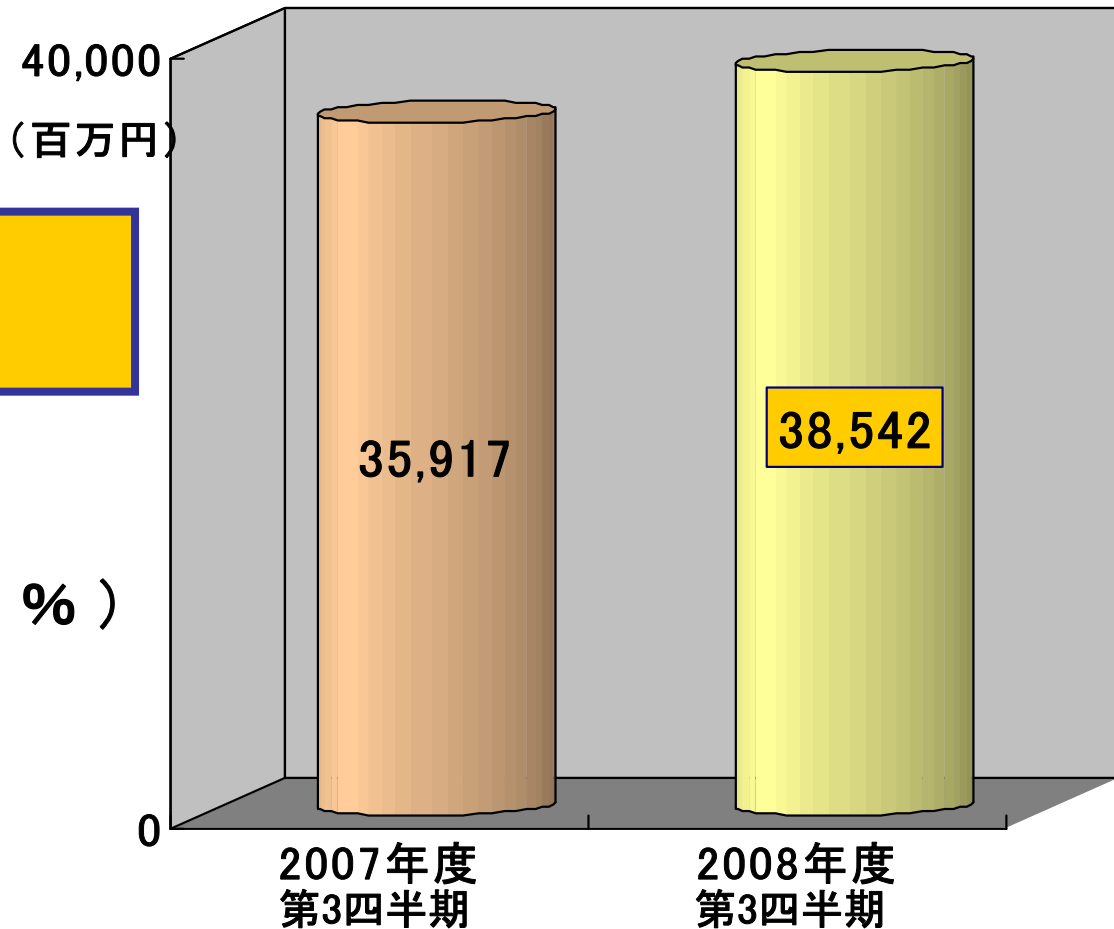


部門別業績推移 医薬品

実績 38,542百万円

対前年同期比

+ 2,625百万円(+ 7.3%)





医薬品売上の内訳

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	34,192	95.2%	34,502	89.5%	310	0.9%
工業所有権等収益	680	1.9%	3,028	7.9%	2,348	345.0%
フルリフロキサシン原薬	909	2.5%	568	1.5%	△ 341	△37.5%
受託製造	136	0.4%	444	1.2%	308	226.5%
医薬品合計	35,917	100.0%	38,542	100.0%	2,625	7.3%

- ・バイナス(23. 6% up)
(アレルギー性鼻炎治療剤)
- ・エビプロスタット(5. 0% up)
(前立腺肥大症治療剤)
- ・アズノールうがい液(13. 0% up)
(アズレン含嗽液)

等の伸長

- ・ハイペン(9. 8% down)
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)
- ・ブラダロン(10. 3% down)
(頻尿治療剤)
- ・セレクトール(7. 8% down)
(高血圧・狭心症治療剤)

等の減少

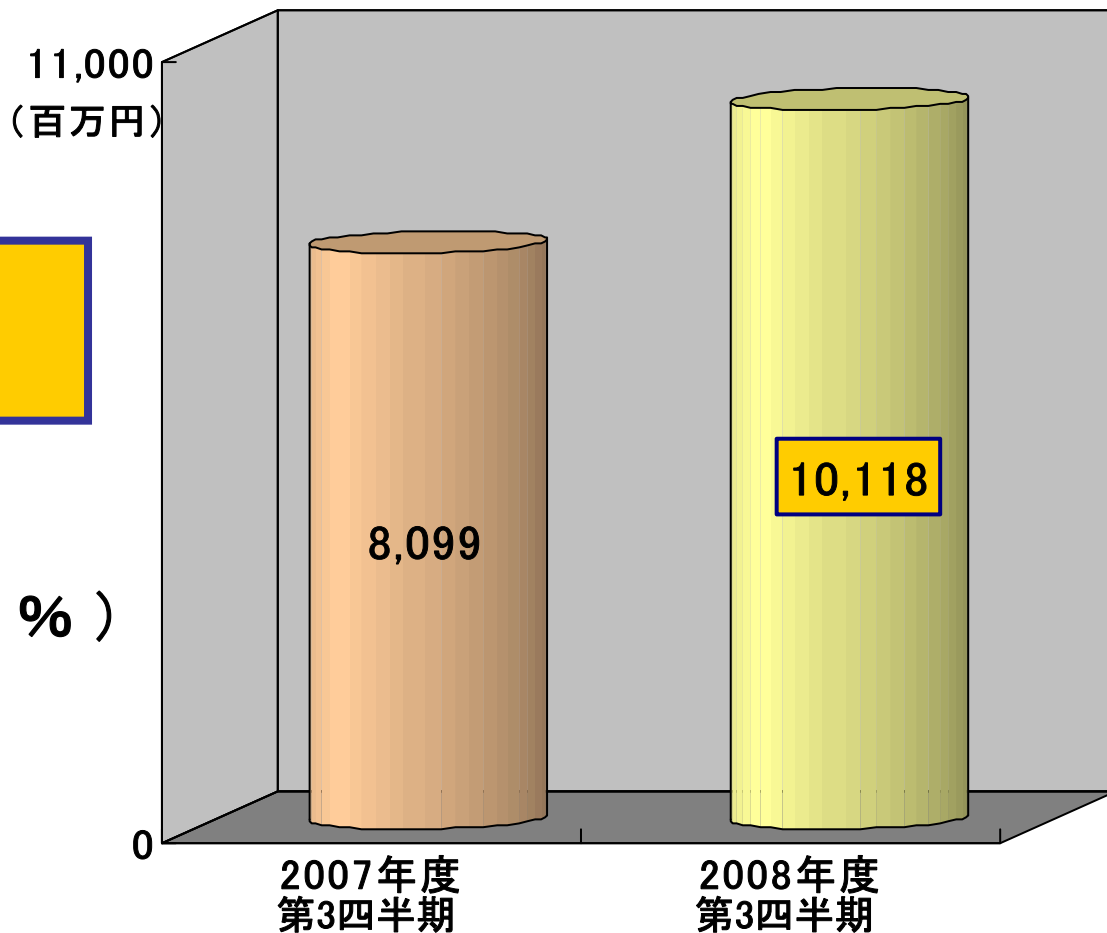


部門別業績推移 機能食品

実績 10,118百万円

対前年同期比

+ 2,019百万円(+ 24.9%)





機能食品売上の内訳

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
健康食品素材	443	5.5%	352	3.5%	△ 91	△20.5%
品質安定保存剤	1,169	14.4%	1,177	11.6%	8	0.7%
たん白製剤	5,263	65.0%	5,740	56.7%	477	9.1%
ニュートリション素材	-	-	1,608	15.9%	1,608	-
その他	1,224	15.1%	1,241	12.3%	17	1.4%
機能食品合計	8,099	100.0%	10,118	100.0%	2,019	24.9%

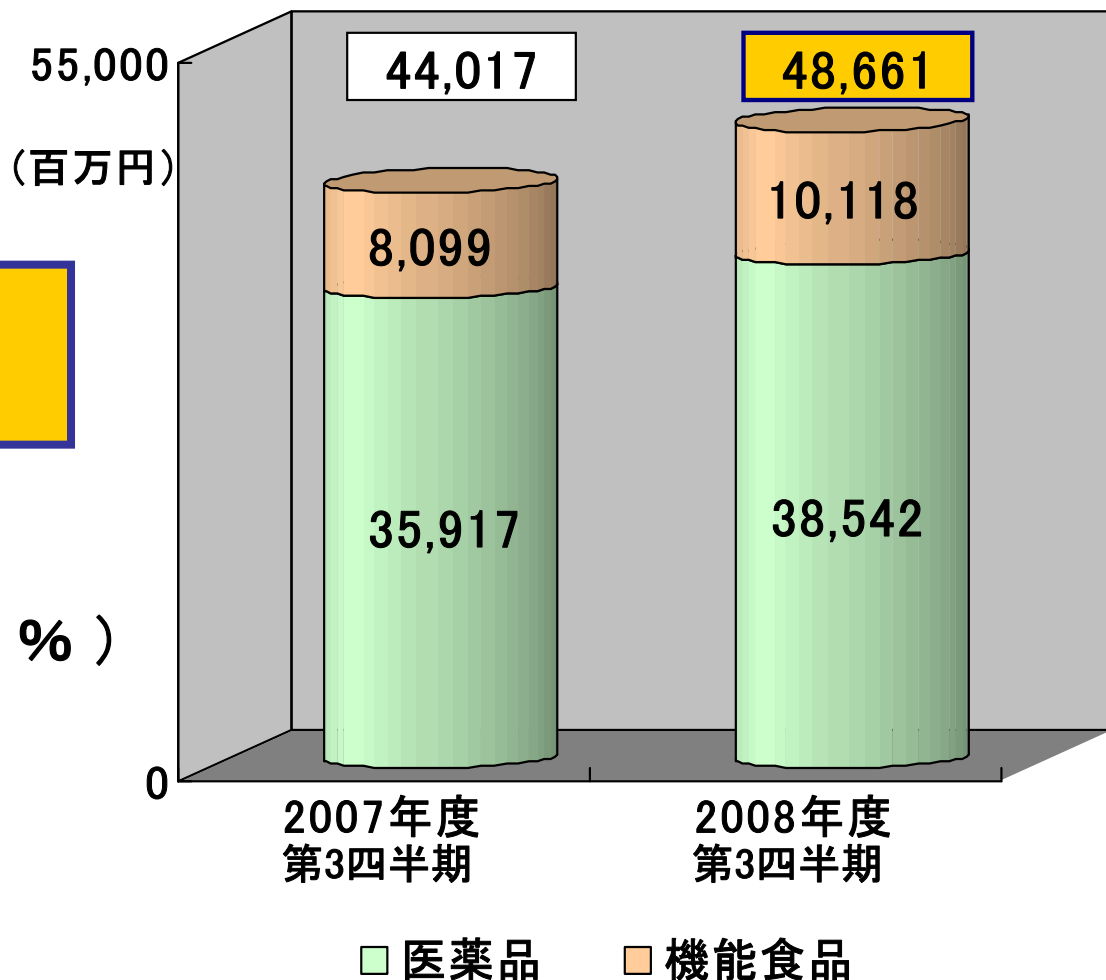


業績推移(連結)売上高

実績 48,661百万円

対前年同期比

+ 4,644百万円(+ 10.6%)





損益計算書（連結）①

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	44,017	100.0%	48,661	100.0%	4,644	10.6%
(医薬品)	(35,917)	(81.6%)	(38,542)	(79.2%)	(2,625)	(7.3%)
(機能食品)	(8,099)	(18.4%)	(10,118)	(20.8%)	(2,019)	(24.9%)
営業費用	38,785	88.1%	41,608	85.5%	2,823	7.3%
売上原価	19,960	45.3%	21,704	44.6%	1,744	
返品調整引当金繰入額	3	0.0%	24	0.0%	21	
販売費及び一般管理費	13,188	30.0%	13,912	28.6%	724	
研究開発費	5,632	12.8%	5,967	12.3%	335	
営業利益	5,231	11.9%	7,052	14.5%	1,821	34.8%

営業利益：売上高の増加により増益



損益計算書（連結）②

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	5,231	11.9%	7,052	14.5%	1,821	34.8%
営業外収益	1,159	2.6%	842	1.7%	△ 317	△27.3%
営業外費用	405	0.9%	837	1.7%	432	106.8%
経常利益	5,986	13.6%	7,058	14.5%	1,072	17.9%
特別損失	-	-	339	0.7%	339	-
当期純利益	3,430	7.8%	3,861	7.9%	431	12.6%

営業外費用：為替差損 406百万円 増加

特別損失：有価証券評価損 339百万円

当期純利益：営業利益の増加により増益



財政状況（連結）

(百万円)

	2007年度	2008年度			2007年度	2008年度	
	期末実績	第3四半期末実績	増減		期末実績	第3四半期末実績	増減
資産の部	103,115	98,735	△ 4,380	負債の部	26,164	22,067	△ 4,097
（流動資産）	56,281	56,111	△ 170	（流動負債）	15,071	13,127	△ 1,944
（固定資産）	46,834	42,623	△ 4,211	（固定負債）	11,093	8,940	△ 2,153
				純資産の部	76,951	76,667	△ 284
合計	103,115	98,735	△ 4,380	合計	103,115	98,735	△ 4,380

(増加)

資産の部 : 受取手形及び売掛金

負債の部 : 未払金

純資産の部 : 株主資本

(減少)

現金及び預金、投資有価証券

賞与引当金、繰延税金負債

評価・換算差額等



キャッシュ・フローの状況（連結）

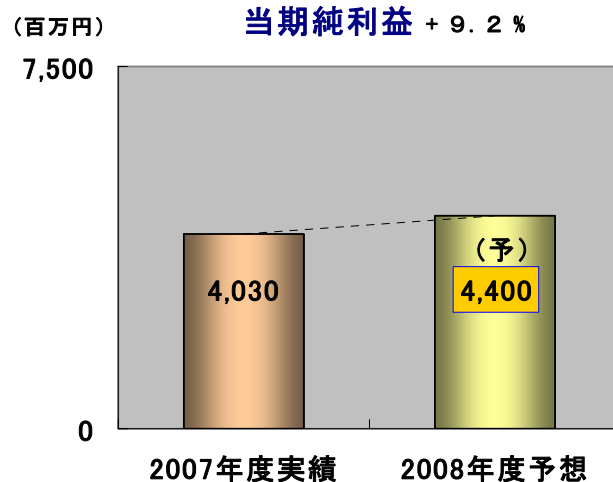
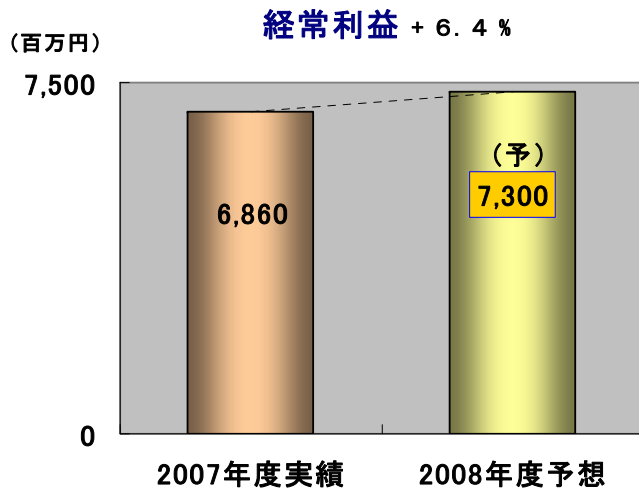
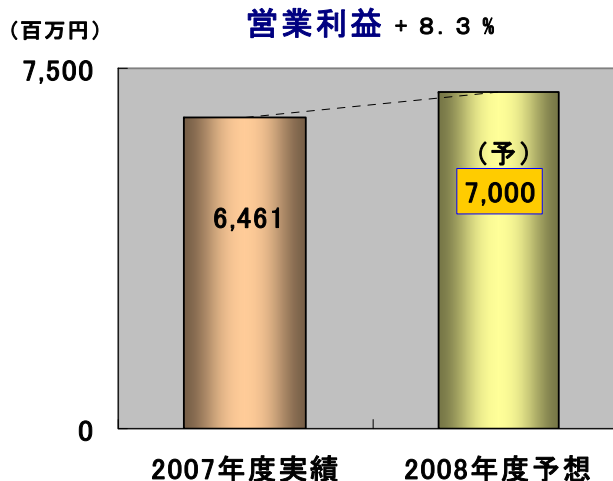
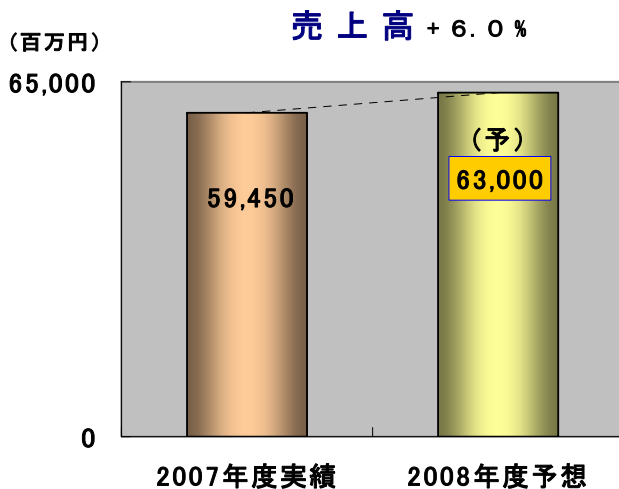
(百万円)

	2007年度	2008年度	2007年度
	第3四半期 実績	第3四半期 実績	実績
営業活動による キャッシュ・フロー	2,163	2,632	7,346
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,253	△ 2,921	△ 1,070
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,778	△ 2,078	△ 2,149
現金及び同等物の 期末残高	10,444	12,267	15,153

現金及び同等物の期末残高 : 対前年度比 △2,886百万円



通期業績予想(連結)



研究開発品目の進捗状況



新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等		開発段階	2006	2007	2008	2009年度
NS-126 (導入)	新成分	吸入 ステロイド [*] 剤	鼻 炎	申請中	→ 申請			
			喘 息	P II	→			
NS-315 (トラマドール塩酸塩) (導入)	新投与経路	癌性疼痛 (非麻薬性鎮痛剤)		申請中	→ 申請			
NS-11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P III 準備中	→ P III 予定		→	
NS-17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髄異形成症候群		P II		→ P II	→	
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症		P II 準備中		→		P II 予定 →
NST-141 (自社)	新成分	アトピー性皮膚炎 に伴うそう痒		P I 準備中			P I 予定	→



新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症	開発段階	2006	2007	2008	2009年度
NM441 (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売 準備中	柳韓洋行社 → 申請	承認 ●		
			US P III	Optimer社 →			申請予定
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	EU P II			Actelion社 →	
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU P II 準備中	CytRx社 P I →			



NS-126

— 吸入ステロイド剤 —

- 開発段階** : 鼻炎:2006/12 申請
喘息: PⅡa試験 終了
- 開発形態** : 自社
- 成分** : 新規合成副腎皮質ステロイド
- 適応症** : アレルギー性鼻炎、気管支喘息
- 特徴** : 粉末製剤
1日1回噴霧
- 提携** : ユ・ヨン社(韓国)へ導出:2008/06



NS-11 (アカンプロセート)

— アルコール依存症治療剤 —

開発段階: PⅢ試験準備中

開発会社: メルクセローノ社(スイス)より導入: 2003/05
欧州30ヵ国で発売済み(1989~)
米国 2005/01 発売(フォレスト社)

適 応 症: アルコール依存症

成 分: アカンプロセート

剤 型: 腸溶錠

特 徴: 脳内グルタミン酸の機能調節に関与することにより、アルコール依存に伴う飲酒欲求を抑制し、断酒維持を補助



NS-17 (アザシチジン)

— 骨髄異形成症候群治療剤 —

開発段階：PⅡ試験 **オーファン指定：2008/11**

開発会社：セルジーン社(米国)より導入

米国 2004/07 発売

欧州 2008/12 承認

適応症：骨髄異形成症候群(MDS)

成分：アザシチジン

剤型：凍結乾燥粉末/バイアル

(用時溶解、皮下・静脈内注射)

特徴：

- ・ DNA脱メチル化作用による正常な細胞分化誘導
- ・ MDS治療の第一選択薬(米国)

将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、マネージドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。